

”リユースと食“で地域で見守る子育て支援

滋賀県彦根市 Hot Hot ほどほど

子育て中の母親が地域で孤立することなく元気に子育てしていける街にしたいと、思いを同じくするお母さん方と『任意団体 Hot Hot ほどほど』を立ち上げ、交流の場作り及び情報発信・地域活性化等を目指し取り組みました。

2015年11月に開催したクリスマス会でベビー&キッズ用品リユース譲渡会イベントの1回目を開催。同じ時期に自分たちの子どもの中学進学と重なり、学校必需品が意外に高額で「お下がりでいいから、もらえたら嬉しいなあ」と思った育児真っ最中の母親目線での経験が、『捨てるには勿体ない体操服やランドセル、入学準備物等のリユース』を始めたきっかけとなりました。リユースが家庭における金銭的負担の軽減・貧困問題の一

助になることを訴えたところ、子どもが通う

小学校の校長、PTAが活動に賛同していただき、2016年3月の離任式に合わせて、学校必需品の寄付を募る機会が設けられることとなりました。そして、リユース活動がなくてはならないものと確信し、非営利の任意団体の特徴を生かして、彦根市や教育委員会、彦根市社会福祉協議会と連携して、困窮世帯へ無償で学校必需品や衣類等の提供も行えるように、一般の家計には家計の一助となるような仕組み作りに取り組みで参りました。

【活動内容】

●ベビー&キッズ用品譲渡会イベント〜カエコト〜を年2回程度開催（2018年4月

以前は〜かえっこ〜）

ベビー&キッズ用品の収集、譲渡のほか、子育て世代同士の交流スペース、子どもとの触れ合いあそび場、育児相談会を設け、リユース活動を通して地域でつながる子育て支援を行っています。

また、困窮家庭に対しては随時、彦根市、彦根市社会福祉協議会や地域と連携し最優先で無償の提供をしています。

●学校必需品リユース

年1〜2回程度、収集・譲渡会のイベントを開催。このほか、彦根市、彦根市社会福祉協議会、学校と連携し困窮家庭のニーズに合わせて、随時必要なものを収集し、提供しています。また、行政や学校には相談しにく





～カエコト～ 学校必需品リユースイベントの様子



～カエコト～ ベビー&キッズ用品リユースイベントの様子



HODOHODO七曲り (リユース品の常設できる拠点)

い家庭にも対応するため、当団体で専用の公式LINEを開設。小中学校を通じて学校必需品リユース活動チラシを全児童生徒に配布し、個別のやり取りができる仕組みを作りました。コロナ禍以降、リユース品のニーズはさらに高まってきており、2021年度以降、2023年8月現在で33家庭へ必要なものを提供いたしました。

〈成果〉前記二つの活動において、現在までに30回イベントを開催。延べ約3650人の方に利用していただいております。また、開催している中で、気になる家庭と行政への橋渡しもして参りました。学校必需品の個別対応においては、制服を準備してもらえたことで就職試験を受けることができ内定をもらえ

た、不登校気味だったが学校に行くようになった等の報告をいただいております。

●「ショッピングセンター催事場にて期間限定で「カエコトひろば」を運営

第1回目からずっとイベントとして開催しておりましたが、たくさんの方に気軽に利用していただくために、常設できる場を持ちたいという目標を持ち、活動が続けていたところ、地元企業様より、2022年2月～5月までの期間限定ではありますがショッピングセンター催事場での出店の機会をいただき、ベビー&キッズ用品と学校必需品の収集、譲渡を行いました。

〈成果〉これまで知らなかった方にも知って

いただくことができました。

・ベビー&キッズ用品…来場者数704人、譲渡数2432枚

・学校必需品…来場者数424人、譲渡数259枚

この活動が必要なものと評価し応援してくださる地域の方々が増え、2022年6月より古民家の一部を拠点として活動できることとなりました。

●古民家をリユース活動拠点にして「HODOHODO七曲り」を運営

拠点を持つという長年の目標が実現し、週1回のペースでオープンしています。

2023年7月までの成果



リユースポスト学校設置

●小中学校・企業様でのリユースポスト設置
当団体のリユース活動をより多くの方に知っていただけるようになってきたものの、特に学校必需品のリユース品が足りない現状の解決策として、2021年度よりリユース品を回収するためのリユースポストの設置を開始しております。2021年度は当団体の活動に賛同くださった1企業様のご協力くださるようになりました。2022年度は教育委員会を通じて小中学校でのリユースポストの設置依頼をし、順次設置を進めてきました。
〈2022年度成果〉企業2社、小学校16校、中学校7校、彦根市社会福祉協議会、彦根市中地区公民館

・ベビー&キッズ用品…来場者数582人、譲渡数2231枚
・学校必需品…来場者数199人、譲渡数212枚

SDGsの取り組み事業として注目され、学校や企業との連携も進んでいます。

●お弁当配布プロジェクト

2021年度より、行政と連携し、地域とのつながりが希薄になりがちな学校の長期休みに、支援が必要な家庭の子どもにお弁当を無料で配布しております。

〈成果〉行政より、お弁当はとても喜ばれていること、またお弁当配布することが、つながりにくかった家庭に対して訪問する糸口となっているという報告を受けています。



ホット♡HOT弁当 (困窮家庭へ配布お弁当)

●親子食堂

2017年より地域の公民館を利用し、地域のシニア世代の知恵と力を借りながら年1〜2回開催していました。2022年9月より「ホドホド食堂」を立ち上げ、月1回誰が



ホドホド食堂準備中 (中学生ボランティア)

来てもいい食堂として活動し、小中学生や大人の地域住民に利用してもらっています。
〈成果〉現在、食堂に参加してくれていた中学生がボランティアとして参加してくれるようになり、多世代がゆるやかにつながり、交流できるようになってきて、地域の輪の広がりを実感しております。

これらの活動を、行政・学校・地域施設と、ボランティアとして子育て世代からシニア世代まで、自分の得意な分野を発揮していただきながら仕組みづくりに協力いただき、地域で親の孤立化防止と子どもたちの成長を見守り続ける子育て支援に取り組んでいます。
(Hot Hot) ほどほど代表 國嶋理恵)